# ダッシュボードを 作ってみよう(Kibana偏)

まつだ げんき

## はじめに

### こんなことないですか?

マネージャーからしてみると、

- 作業者がRedmineにきちんとデータを入れてくれない
- データの精度が低くて可視化しても、進捗の実態がわからない
- 数値だけで全て把握するなんて無理。ヤバいなら早く 報告してほしい

### こんなことないですか?

作業者からしてみると、

- 自分の入れてたデータが何に使われているかわからない
- 正直、自分たちの進捗状況でさえ、よくわからない
- 進捗は問題ないのに、やけに進捗確認してくるマネージャー。。。

## グッシュボードを作ってみませ んか?

ダッシュボードを作るとこんないいことがあります。

- マネージャーも作業者も、みんな同じメトリクスを 見ることで、コミュニケーションエラーが減ります
- 作業者自身がメトリクスを見ることにより、プロジェクトの異常事態に気づいたり、自ら改善活動を行うようになったりします

## OSSのダッシュボードツール

| ツール      | DB   |
|----------|--|
| Kibana   | バックエンドはElasticsearch(NoSQL)のみだが、データを突っ込みさえす<br>れば、GUIで簡単にDashboard作成できる。 |
| Pentaho  | 無料版だとグラフがしょぼいらしい。プログラミングしなくてもデータ入<br>力~可視化までできちゃう。どっちかというとBIツール。         |
| Re:Dash  | バックエンドに様々なSQL、NoSQL(Elasticsearchも)にできる。反面、<br>クエリの投げ方(SQL、NoSQL)の知識が必要。 |
| Superset | SQLをバックエンドに登録しさえすれば、GUIでポチポチらしい。   |
| Graphana | Re:DashほどではないがSQL、NoSQLをバックエンドにできる。そして、<br>シンプル。反面、x軸が必ず時系列データになってしまう。   |

## Kibanaの説明を少し

#### Kibana & Elasticsearch



KibanaはElasticsearchをバックエンドに持つダッシュボードツール。複雑なコードを書く必要はなく、基本はGUIでポチポチすれば、ダッシュボードを作成できます。

Elasticsearchは全文検索エンジンなのですが、今回はNoSQLのDBと理解しておいてください。



#### **KibanaのURL**

http://35.200.127.76:5601/s/k-metrics/app/kibana

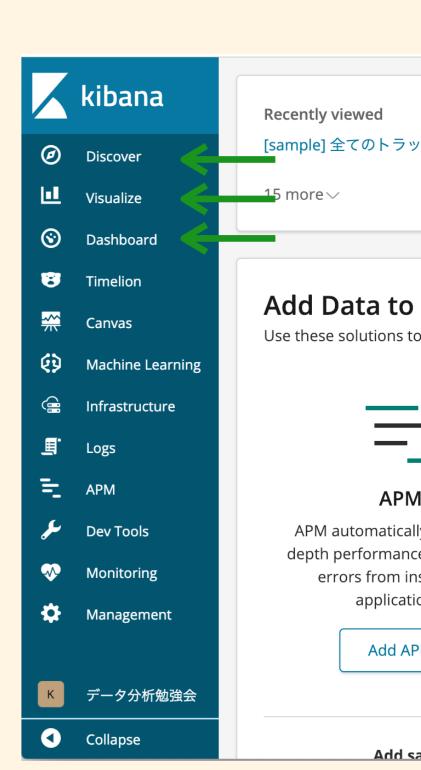
### 使うのはこの3つだけ

Discover 生データを見る。一覧表を作る。

Visualize

グラフを作る。

Visualizeで作ったグラフを組み合わせ Dashboard て、ダッシュボードを作る。



## 円グラフの作り方

ここがわかりやすい。

https://dev.classmethod.jp/cloud/aws/amazon-elasticsearch-service-kibana6-tutorial-02/

「グラフ作成」

## リスト、折れ線グラフ、ダッシュ ボードの作り方

ここがわかりやすい。

https://qiita.com/namutaka/items/b67290e75cbd74cd9a2f

## 実際にKibanaを触ってみよう

## チーム分け

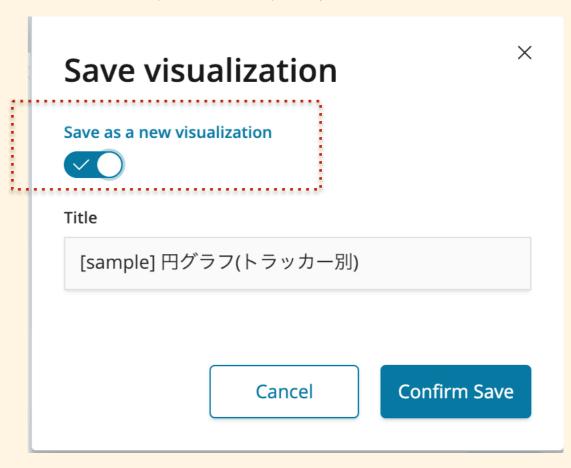
チーム

- [TeamA]
- [TeamB]
- [TeamC]

## 注意点1

サンプルを上書きしないでください

Save as a new visualizationにチェック



## 注意点2

保存するときの名称は"[チーム名] xxxx"の形式

